

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 470

事業名	保健推進活動業務委託(緑支部健康づくり推進班)		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	健康課		款	衛生費・4款
電話	0799 - 44 - 3004			項	保健衛生費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	健康づくり推進事業費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	南あわじ市緑支部健康づくり推進班規約			
	まちづくりの目標	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__ 延ばせ健康寿命__[健康]			
	施策目標	健康増進や予防などに関する意識を高め、信頼性の高い医療・ 救急医療が受けられる仕組みを整える			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		緑地区全住民	対象人数(人) 6,261
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 健康の保持増進を図り、明るく住みよい緑地区をつくることを目的とする。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 旧緑町の22地区それぞれに健康づくり推進班員をおき、その班員が主体となって、 地区内で健康づくりに関する自主活動(健康教室など)を年間1~3回実施する。「自 分の健康は自分で守る」という基本理念のもと、行政主導ではなく、地域住民自らが主 体となって、健康づくりのための活動を実施するため、住民組織への業務委託をしてい る。 平成20年度に実施した活動は、血圧測定、AED講習などの健康教室、ウォーキン グなどの軽運動、早朝ラジオ体操など計56事業、延5,300人が参加した。	
	背景、 委託根拠	旧緑町時代の昭和54年より、住民の自主活動組織として始まり、身近な地域住民同 士の健康づくりのための活動を実施してきた。当初は隣保内の健康状況確認のための家 庭訪問活動なども実施していたが、個人情報保護の関係もあり、現在では、各自治会で 健康づくり推進班員が中心となって、健康づくりの活動(健康に関する情報提供、運動や 交流、安否確認等)を年間1~3回実施している。	
事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ( )		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 緑支部健康づくり推進班活動は、住民からの解散希望もなく緑保健福祉センターに事務局を おいた推進事業として、存続が決定されて今に至っている。地区組織は解散するのは簡単だ が、いったん解散すると新たに結成することは非常に困難であり、慎重な配慮が必要であると 指摘された。		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	健康づくり事業実施回数・参加者数					指標単位
							回数・人数
	指標説明 (指標算出 方法等)	健康づくりに関する知識の普及啓発、健康教育実施回数					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値	50	50	50	50		
	実績値	52	54	56			
	達成度 (%)	104.0	108.0	112.0	-	-	
目標値設定 の考え方	緑地域内の22の自治会で、自主活動を年1～3回実施						
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	532	580	505	210	0	
	委託料	532	580	505	210	0	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	532	580	505	210	0	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)						
事業量2(事業に要した人数)							
年間経費([A]+[B])	532	580	505	210	0		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	85.0	92.6	80.7	33.5	0.0		
経費に関する 補足説明	20年度までは、委託金については1世帯あたり250円を支払っていた。住民が主体となって地域の健康づくりを担う自主組織は意義のあるものであるが、緑地区にしかない組織であり、21年度より1世帯あたり100円に減額している。22年度には、委託を中止(委託金をゼロ)とし、地区単独での健康づくり活動として実施していただきたいと考えている。						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
達成度	目標達成度	%	104.0	108.0	112.0	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 各地区において健康教室、地域での交流などを実施しており、平成20年度については、56事業、延5,300人が参加している。ウォーキングや軽運動、健康教室などを活発に実施している地区もあるが、計画しても参加者が少なく、事業が中止になった地区もある。						自己評価 (5点)
							3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 近隣とのつながりが希薄になっている中、事業への参加者が多い地区では、普段顔を会わせる機会の少ない世代の人たちとの交流を持つことができ、お互いの健康づくりの情報交換の場となっていた。逆に、事業への参加者数が少なく、そのほとんどが高齢者だった地区では、地区の課題として改めて考えさせられたという感想が聞かれた。役員になることで、自分の住んでいる地域の健康課題を考える機会となっている。						自己評価 (5点)
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
効率性	事業単価	円	85.0	92.6	80.7	33.5	0.0
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 健康づくり推進班活動は、市からの委託金と地区からの補助金をあわせた経費で活動している。「自分の健康は自分で守る」という基本理念からみても、住民自らが地域の健康課題を考え、健康づくり活動を実施していくことの効果は大きい。しかし、南あわじ市のなかで、緑地区にのみ存在する組織であり、22年以降は市からの委託は中止とし、地区活動の一つとして、活動していただきたいと考える。						自己評価 (5点)
							3
		公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 「自分の健康は自分で守る」という基本理念からみても、住民自らが地域の健康課題を考え、健康づくり活動を実施していくことは必要であると考え。旧緑町時代から30年間継続して実施している事業であり定着しており、市が委託を中止しても、自治会での自主活動として継続実施していただけるのではないかと考える。						自己評価 (5点)
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 「自分の健康は自分で守る」という基本理念からみても、住民自らが地域の健康課題を考え、健康づくり活動を実施していくことは必要である。また、近隣とのつながりが希薄になっている中で、地域組織の活動は防災福祉の面からも重要である。しかし、南あわじ市のなかで、緑地区にのみ存在する組織であり、財政的にも他地区への広がりには難しい。市からの委託金が22年度より廃止となった場合でも、30年間続いてきている組織活動であり地区活動の一つとして、継続実施していただける地区もあるのではないかと考える。						<div data-bbox="821 1541 1388 2116" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> <p>達成度</p> <p>5 4 3 2 1 0</p> <p>必要性 ← 0 → 有効性</p> <p>効率性</p> </div>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>緑地区保健推進活動は、旧緑町地域に限った活動に対する委託であるため、平成21年度をもって業務委託を中止とする。</p>	<p>同左。</p>
(現状維持以外の改善方法)	<p>子供から高齢者まですべての世代が参加できる活動であり、回数は減るが活動を実施しようという地区の声もあるので、委託中止後も自主活動の一つとして継続していけるよう企画実施の協力、専門職の派遣等の支援を行っていく。</p>	<p>同左。</p>
改善によって期待される効果	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>活動回数は減るかもしれないが、活動は継続される。</p>	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>同左。</p>
	<p>コスト面</p> <p>委託料が削減される。</p>	<p>コスト面</p> <p>同左。</p>
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>委託を中止した場合、活動が継続されない地区も出てくる。</p>	